

誰もが楽しめる絵本 ママと作ったよ **浜松市**



ユニバーサルデザイン絵本の制作に
取り組む参加者ら
＝浜松市中区の静岡文化芸術大

浜松市は23日、障害などの身体的特性や、年齢、文化の違いを超えて誰もが楽しむことができる「ユニバーサルデザイン（UD）絵本」を制作するワークショップを同市中区の静岡文化芸術大で開いた。

小学1～4年生と保護者ら14人が、絵が飛び出したり、動かせたりする絵本を作った。同大文化政策学部の林左和子教授とデザイン学部の小浜朋子教授、学生の手ほどきを受け、手芸や工作に使う緑のモールをねじって葉を表現するなどの工夫を凝らした。

母親と参加した藤森裕子さん(中郡小4年)は「目が見えない人でもわかるように、凹凸を意識しながらショートケーキの絵本を作った。普段の工作より考えることが多くて新鮮だった」と話した。

